

## 全国教研 in 岩手

2月5日から7日まで岩手において全国教研がありました。5日の午前の全体会では京都精華大学の白井聡氏の講演がありました。白井氏は、教育を語る政権の危うさ（教育について語れば票をとりやすい）、政権が社会問題を教育問題へ責任転嫁をしていることを指摘しました。また、いくら教育に予算をかけても目に見えた効果が上がることはないことに言及されました。教育に一番大きな効果をもたらすもの、それは子どもたちの「意欲」ということを私たちはわかっているはずだと。消費文化に埋もれたこの日本の子どもたちは、学校の中に「おもしろさ」「楽しさ」を見つけるのが難しくなっていると。



そして、教育の敵としてあるのが消費主義だと指摘されました。社会全体が、消費することだけに楽しみを見出すようなメッセージに包囲されている。国民が消費することだけに楽しみを見出すことで、経済権力から一部のエリート以外は「愚かな消費者・従順な労働者」であることが期待され、政治権力からは「無知・無気力・無関心」であることを期待されている。権力にとって「批判的思考」「主権者の自覚」を育む教育は邪魔であり、排除すべきものである。では私たち教員は何ができるのか。それは「教養の回復」であり「知性の回復」であると締めくくられました。

また5日午後から7日午前にかけて、それぞれの会場に分かれて分科会が行われました。今回は「算数科教育」「インクルーシブ教育」「家庭科教育」「生活科・総合学習」「民主的な学校づくり」5つの分科会でそれぞれ、湘南の実践を報告してきました。この分科会については2月教研で報告がありますので、ぜひご参加ください。

印象に残ったのは沖縄の報告で、学力向上推進委員会なる校務分掌が各学校にあり、授業では「学習スタイル」の統一がされているということでした。授業のはじめには必ず板書で「ねらい」を書き、そこから授業を始めるということです。そしてこのスタイルから逸脱することが許されないということでした。

そこで考えたのが、マニュアル通りの授業をやることで、私たち教職員自身が、白石氏の講演にあったような「無知・無気力・無関心」な「考えない教師」になってしまうということです。授業の中で私たちも子どもたちをマニュアル化（発言の仕方、話し合い方等）していないでしょうか。今回の教研においても右翼の攻撃、新聞、雑誌による歪曲した報道がありました。しかしそれだけでなく「学習スタイル」というものから逸脱させないという、私たち教職員の「考える力」を奪おうとする勢力は、確実に他の方向からも来ているのです。

それに対抗していくには、教職員自身の「学び」しかないことを改めて考えさせられた全国教研でした。

# 『教え子を再び戦場に送るな！』

## ○「戦争をしない国」 → 「戦争ができる国」へ

2015年8月15日、戦後70年を迎えました。戦争で多くの命が犠牲になり、人々は「二度と同じ過ちを繰り返さない」と誓い、教職員においては「教え子を再び戦場におくらない」と心に決めました。憲法9条の重みを感じながら、戦争のない平和な暮らしを続けてきました。

しかし同年9月19日、大半の憲法学者が違憲であると警鐘をならし、国会周辺を取り巻く多数の人たちが反対するなか、参議院本会議で安全保障関連法案の強行採決が行われてしまいました。この法案の成立により、力で問題を解決する一員に日本が本格的に加わり、自衛隊は海外での活動の幅を広げることになりました。

さらに、安倍政権は参議院選挙でも3分の2以上の議席確保を図り、憲法改正の道筋を固めようとしています。2012年に作成された自民党憲法草案には、「自衛隊を自衛軍にする」「総理大臣が閣議決定を経ずに直接、行政各部を指揮監督できる」など国家主義的で独裁的な記述があります。安倍政権の『戦争のできる国づくり』『国家主義的、独裁的な国づくり』を私たちは絶対に許すわけにはいきません。



## ○これからどうすればいいの？

戦争ができる国づくりを阻止するために、今年7月に行われる参議院選挙で、絶対に憲法改正賛成者の議席を3分の2以上取らせない。ことです。そうすることで、憲法改正をさせないことができます。そして、反対派で議席を過半数以上取ることができれば、戦争法廃止に向けて大きく前進します。そのために湘南教職員組合として、

- ① 引き続き国会前で、戦争法廃止！憲法改正反対！の声をあげ続け、大きな世論の流れをつくりだすこと
- ② 今後とりくみを強化するため、「戦争法の廃止を求める2000万人統一署名」をたくさん集め、戦争法廃止、憲法改正反対に賛同してくださる方を増やし、7月の選挙につなげる

今後も各分会でのとりくみよろしくをお願いします。

ともに声をあげていきましょう！！

子どもたちや若者の貧困問題を考える 1月29日  
—奨学金問題を中心に— 労働会館  
大内 祐和氏 (中京大学教授)

**このままでいいんですか？ 奨学金制度！！  
私たちのできることは・・・**

子どもたちや若者の貧困問題について、奨学金の課題を中心に講演をしていただきました。

以下、大内氏の言葉です。

#### **各家庭の問題ではなく、社会問題に！**

この問題は、奨学金の問題ではなく日本社会で子どもを育てることは何なのか。これは各家庭が頑張っていれば自然に解決する問題ではなく、社会問題にしなければいけないことに気がついてほしい。

#### **現在全大学生の52.5%が奨学金を借りている**

以前は少数の学生の問題でしたが、現在全大学生の52.5%になり、状況は大きく変わってきている。

#### **月に8万円、10万円、12万円という学生が大量に**

そこで、「愛媛大学学費と奨学金を考える会」が結成され、私の活動の原点となっている。

#### **2万人の説明会**

4万人の早稲田大学で5割借りていると、2万人もの学生が説明会に参加となる。2万人入る教室がないから学部別学年別に説明会が必要となる。

#### **マスメディアが大きく取り上げたのは？**

2011年11月23日「教育の機会均等を作る『奨学金』制度の実現を目指すシンポジウム」に参加して、五日後の東京新聞に大きく取り上げられた。なぜ、こんなにテレビや新聞や週刊誌が取材するのかと考えたら、単に大学生が奨学金をたくさん借りているというのではなく、このことが日本社会の将来を決定するくらい重要な問題であるとマスメディアが、気が付いたからだ。

#### **世代によって違うから問題化しなかった**

#### **今の奨学金制度は、違う！**

奨学金制度がこの30年で大きく変わったからだ。かつての日本育英会の奨学金には、利子付きの奨学金はなく、すべて無利子だ。全く利子をつけずに貸していたわけだ。これが変わったのが32年前で、1984年に日本育英会法が改正され、有利子枠がつけられた。

2012年度は有利子が圧倒的な数になっている。有利子というのは借りたお金以上に返さなくてはならない。無利子の希望は多くあるが、枠が少ないので通らない。本人は何も悪くはなく、わかっているでも有利子の方を借りるしかなくなるのだ。あるいは奨学金をあきらめるとか。さらにひどい場合は、大学進学をやめるということになる。

#### **日本の奨学金は借りるもの**

#### **世界標準から完全に外れている**

世界標準では給付である。しかし日本では、民間団体や大学で給付はあるが、政府が出しているのはすべて貸与なのだ。だから借りるのが当たり前、返すのが

当たり前になっている。政府は少子化担当大臣を置いているが、この奨学金制度をほっておいたら、少子化は100%解決しない。

#### **一番ひどいのは**

返せないで年10%の延滞金がかかり、480万円借りていると年に48万円、2年間96万円、3年間で144万円上乗せされる。最初は延滞金から返済され、最後に元本です。だから元本がなかなか減らないのです。一番ひどいのは、この利息と延滞金がどこにいつているかということだ。日本学生機構のDVDでは「返しなさい。君たちの返したお金がこれから利用する学生のお金になっています」と言うが、ウソだ。原資にするならなぜ元本から返さないのか、延滞金や利息からなぜ先に返すのかだ。延滞金や利息で儲かるところに便宜を払っているからだ。銀行と債権回収会社だ。

#### **国立の授業料は年54万円で2031年に93万円に**

#### **●なぜ上がったのか？**

かつては、自治的活動として反対運動があった。

#### **●なぜ気が付かなかったのか？**

少数の問題とされていた。

#### **2010年には奨学金を借りる人が5割を突破**

この問題の誤解があった。奨学金と聞くと経済的に困っている家庭で、成績が優秀な子が利用する少数の人のものというイメージがあった。しかし、5割を超えると違ってくる。利用している方が多いのだから、少数ではない。

半数を超えたということは、少数の問題ではないということになる。

#### **高校で働けばいいという謎の主張**

もう一つ誤解は、そんなにお金がかかるのなら、無理して大学に行かず、高校で働けばいいという謎の主張だ。高卒で働く場所がはたしてあるのか。昔は希望した大学進学、今は強いられた大学進学になっている。

#### **払いたくても払えない**

もはや奨学金が奨学金になっていないということが最大の問題だ。奨学金から借金、奨学金からローンになっている。だから奨学金をふさわしいものにしないとはいけなく考える。

#### **奨学金制度の問題**

奨学金が奨学金としての機能を果たしていない。

- ① 適格者が無利子奨学金を得ていない
- ② 卒業後の返還の困難さ
- ③ 将来の返済不安から奨学金を借りることを抑制

#### **奨学金制度改善へ向けての運動**

- ① 地方レベルでの実践  
都道府県など地方自治体レベルでの給付型奨学金制度の実現に向けてとりくむ
- ② 2016年参議院選挙の争点にしていく
- ③ 「わが子さえ良ければ」からの脱却  
教育への公的支出や奨学金制度に関心をもち
- ④ 今の情報を共有し、多くの人に伝えよう

# 立憲主義の危機と学校現場 — 「日の丸・君が代」強制との闘いから—

講師 元都立高校教員 岡山輝明さん

「日の君」は卒業式や入学式だけの問題ではありません。学校のあり方を根元から変えてしまう問題です。国会での多数派による秩序維持のシステムに墮落させられるのと同じです。

講演は、岡山さんが教員生活の中で直面した「日の丸・君が代」の強制についての話からスタートしました。「日の君」に関係した処分取り消しを求める裁判は今も続いており、12月4日に東京高裁で控訴審判決が出る予定で、岡山さんはその原告団の代表になっています。懲戒処分に伴う不利益だけでなく、減給が取り消された後も、「日の君」に対する考え方においても思想改造を強制され、管理職も含めた職場全体の連帯責任が問われて、締め付けを強いられてきたそうです。それならばなぜそこまで指導を徹底する意図は何なのでしょう。

## ① 都教委はなぜここまでやるのか？ 卒入学式等の学校儀式は何を意図するか

都教委が、入学式や卒業式などの式典で「日の丸」をステージ正面に掲げ、参列者がそれに正対して礼をし、音楽教員のピアノ伴奏で国歌を斉唱することに拘るのは、なぜなのでしょう。

→ 「日の丸」の掲揚 1920年代に官庁から、そして30年代は日中戦争の拡大の中、「宮城遥拝」と並び「国旗掲揚」「国歌斉唱」が励行されました。敬礼の対象外とされたのです。

「10.23 通達」による「日の丸・君が代」の徹底した強制は、「御真影」が「日の丸」に替えられてはいるものの、戦前の国家神道の一翼を担う天皇崇拜儀式を引き摺るものとして、画一化された厳粛な儀式の進行を通して国家への忠誠心を養うことを意図したものであると言えます。言いかえると、子どもや若者達、保護者にも、何の疑問を持たせずに当たり前で自然なこととして国家への忠誠心をすり込むことが、真の目的だと言えます。

「日の丸・君が代」の強制教育は、一般国民の経済生活の劣化に対して抗議・批判する精神や、又は怒りがあっても、その矛先を強者たる支配勢力に向けさせない働きがあり、財界が「日の丸・君が代」教育の推進を強力に支えている最大の理由はここにあります。

## ② なぜ都教委はここまでやるのか？ 学校の在り方を変える

学校の変容 生徒を受け止める場ではなく、生徒に仕掛けていく場に一面化しつつある

⇒ 立憲主義の危機は政治の話ではなく、学校現場でも起こっている話であり、今までの決まりは尊重されず校長の考え次第で全てが決まります。校長の「私が決定権者」は、安倍首相の「私が最高責任者」と同じです。

授業 年間授業計画や週案などと管理職が監視する態勢が整備された中で、ICT教育の環境整備が一方的に進む

⇒ 近い将来、週案通りに授業を行っていないことが攻撃され、その対策として、これで授業をやれと教育産業等が開発したソフトを渡される時代が来るのではないのでしょうか。

## ③ なぜ職務命令に従わないのか？ 岡山さんが従って来なかった理由

職務命令に従えば、生徒に対し「立って歌え」と強制する側に回ることになります。生徒達から見れば、教員はたとえ穏やかに接してこようと、逆らえない相手であることに変わりはありません。だからこそ、教員は生徒達に自分の考え方を押し付けることはいうまでもなく、時の権力者の意向に無批判に従わせるようなことは決してしてはなりません。しかし、実際に「私は生徒に強制した覚えはない」という教員は多いのが現状です。

では、国に従っていて安全で安心な生活をおくれると思いますか？戦争の惨禍、高度経済成長の反面として公害、米軍基地が集中する沖縄、福島原発事故…。誰かに犠牲を強いるか、あるいはその時はよくても後で生活が奪われた歴史があるではないですか。

### 《ガンジーの言葉》

1人騒いでも社会は変わらない。大人になろうと思って何も言わなくなったら、自分が変えられたことになってしまう。あなたがすることのほとんどは無意味であるが、それでもしなくてはならない。…世界を変えるためではなく、世界によって自分が変えられないようにするためである。

大切なのは、議論することです！

卒業式、入学式と行事が続きます。ぜひ、話し合ってみてください。

# 日帰り スキースノボツアー

1月30日（土）、今年度3回目の青年委員企画であるスキー・スノボツアーを行いました。天候が心配されましたが、3市1町から19名が参加しました。とても風が冷たい早朝にも関わらず、皆さん元気に集合場所の藤沢駅に集まり、サンメドウズ清里スキー場に向かいました。

## バスでのミニ学習会

バスの中では、寝起きで目をこすりながらも、参加者一人ひとりが自己紹介をしました。内容は、名前と分会名に付け加え、執行部が事前に用意した質問に答えてもらう形で行いました。質問内容は、「最近あったラッキーな出来事」、「教員を志したきっかけ」など、ありきたりな事から、「青春時代の恥ずかしい思い出」、「モノマネ・一発芸を披露する」など、ちょっと言いにくいけど場が盛り上がる内容で、車内が明るい雰囲気になりました。



また、恒例の執行部による組合プチ学習会を行い、「普段、執行部はどんな仕事をしているか」や執行部をした感想などを伝えました。「執行部の仕事に携わることで、いろいろな方に巡り会えて本当に良かった。」など、素直な感想から、少しでも執行部のとりくみがわかってもらえたなら幸いと思っています。

## ゲレンデの様子

大きな渋滞もなく、10時過ぎにはサンメドウズ清里に到着し、準備の整った参加者からゲレンデに向かいました。スキー場のコンディションもなかなかで、経験者も初心者もみなさんエンジョイすることができたと思っています。



## 帰りのバス

ゲレンデを満喫した後は、疲れた体を癒やすため温泉に寄りました。冷えた体が温まり思わず「う〜ん」と唸る参加者もいて、この企画においての温泉は、無くてはならないコースだと、改めて感じました。帰りの車中ではビンゴも楽しみ、旅の最後までしっかり交流がはかれたと思っています。

## 参加者より

組合の内容、執行部のことなど、普段見えない部分も分かったので、良い機会になりました。

スノボに温泉にとても満喫できました。楽しいバスレクもありありがとうございました。

2回目の参加です。とてもお得な金額で程よく楽しめるので、うれしいです。最後に温泉があるのもいいです。

集合時間や解散時間がちょうど良かったです。滑る時間も十分楽しめてリフレッシュすることができました。

いたれいつくせいで楽しい思い出が出来ました。温泉に入れたのも良かったです。

青年委員会の企画を組合のことに触れるきっかけの1つと考えています。ぜひ自校以外の教職員とも横のつながりをもってもらい、様々な場面、行事で青年層が集まり、遊び、語り合い、共感し、学びあうことで、たくさんの経験をしてもらいたいと思っています。今後も青年委員会の企画に参加していただけたら幸いです。

# 執行部のつづやき③多面的に見るとということ



こんにちは。今回「執行部のつづやき」を書くにあたって、ずっとあれこれ考えていましたが、最近自分が感動したことを書こうと思います。

私は、執行活動の合間を縫って、所属中学のソフトテニス部の指導に行っています。その中で球を打つフォームの指導を続けていますが、気付いたことがあります。それは、同じ指導をしているにも関わらず、気付けば、みんな違うフォームで球を打っているということです。この悩みはずっと思っていました。昨年夏頃、テレビ番組で「レッシュ4スタンス理論」というものを知りました。これは、「人は生まれつき足のどこで体重を支えているかが決まっている。それにより人が動く際、力が入る指、動き方、軸をつくるポイントが決まる」というものでした。

あなたはケンケンする際、地面についていない足裏を上に向けてしますか？地面についていない膝を上げてケンケンしますか？前者の人は前体重で、後者の人は後ろ体重でしょう。ただ、これは体重を乗せるだけの話でなく、そのタイプ別で、全身運動の得手・不得手があるということなのです。私は自分が教えている通りに打てる子が優れていて、他に雑多にある変なフォームで打つ子は劣っていると考えていました。しかし、この理論を知り、「面白い打ち方だなー」と思っていた子も本当は、力を入れるためにその子のタイプに合った確かなフォームをしていただけたと気付くことができました。顧問になって8年間、まさに青天の霹靂でした。これが、今回のテーマである、「多面的に見る」ことができた瞬間だと考えています。ちなみに、先ほどの前体重・後ろ体重の違いを知りたい方もいると思うので答えておきますと、前体重の人は、胸と膝をつけるようにしゃがむ・走る時は前方から引っ張られるように前傾姿勢・指先でものをつかむなどの特徴があります。後ろ体重の人は、押されるように背筋を立てて走る・かかととお尻をつけるようにしゃがむ・掌にものをつけて握るなどの特徴があります。繰り返しになりますが、私はこの理論を知って一方的ではなく個人個人によって違いがあって良い、その個人個人のタイプの動きに合わせた指導をするべきであるということ学びました。実は同じことを執行部に入って、ずっと2年間思っています。

是正すべきは、子どもではなく自分自身でした。執行部に入るまでは、執行部に対しては、「非常識な団体だ」とまで思っていました。動員や謎の集会。ついには選挙前にかかってくる執行部からの電話。しかし実際、自分が執行部に出ると、全ての動員や集会、デモなどの行動の意味も理解できるようになりました。つまりレッシュ理論を知った時と同じく、執行部に出て、多少なりとも多面的にもものを見ることができるようになりました。

へんな文章だなと思った人は、ぜひ多面的にこの稚拙な文を読んでみてください(笑)

## 特別団体契約「サンクス・フェスティバル」パスポート 購入申込書

ご利用期間 2016年 **1/6(水)～3/18(金)** ※入園制限中のパークではご利用いただけません。

必要事項をご記入の上、本申込書をご提出いただくと、**1枚につき5名様まで**特別料金でお買い求めいただけます。

特別団体契約番号(4桁)	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>9</b>
	※特別利用券右上の1から始まる4桁の数字をご記入ください。			
契約団体名	<b>(株)ベネフィット・ワン</b>			
	※特別利用券に記載されている発行責任者名をご記入ください。			

	大人 18歳以上	中人 (中学・高校生)12～17歳	小人 (幼児・小学生)4～11歳
特別料金	<b>¥6,300</b>	<b>¥5,400</b>	<b>¥3,900</b>
購入枚数 (合計5枚まで)	枚	枚	枚

**【注意事項】**

●本申込書を対象者以外の方へ譲渡(転売、ネットオークション等を含む)することを禁止します。●本申込書は特別団体契約のご利用団体の従業員・職員とそのご家族が対象者となります。(バスポートご購入の際に、勤務先が確認できる物のご提示をお願いする場合があります)●本申込書は一人様1回のご購入につき1枚ご利用いただけます。●未記入の場合は特別料金が適用されません。●特別利用券をお持ちの方は、本バスポートご購入時に併用可能です。●旅行会社等で他チケットの観光券、入場予約券、直接入園予約券をお買い求めになり、本バスポートへ変更される場合は、ご来園当日に入園されるパークの当日券販売窓口にて、本購入申込書をご提出ください。変更手数料(200円/1枚)を差し引いた差額を精算いたします。●他チケットから、本バスポートへ変更される場合は、チケット販売窓口にて本申込書をご提出ください。変更手数料(200円/1枚)を差し引いた差額を精算いたします。●本バスポートをご購入後、実施期間外にご利用になる場合は、利用当日の通常料金との差額及び変更手数料(200円/1枚)を別途申し受けます。

**チケット販売場所**

**【当日券】**

東京ディズニーランド、東京ディズニーシーの当日券販売窓口  
 ※ディズニーアンバサダーホテル、東京ディズニーシーホテルミラコスタ、東京ディズニーランドホテル、東京ディズニーリゾート・オフィシャルホテル、東京ディズニーリゾート・パートナーホテルでも、ご宿泊者に限りご購入いただけます。

**【前売券】** 2015年12月6日(日)より販売開始

東京ディズニーリゾート・チケットセンター(イクスピアリ、1F)  
 東京ディズニーランド: グストリレーション・ウィンドウ(園外)  
 東京ディズニーシー: 団体チケットブース  
 ディズニーストア(渋谷公園通り店、池袋サンシャインシティ店、お台場アクアシティ店、町田109店、八王子東急スクエア店、昭島モリタウン店、横浜さくら店、ららぽーと横浜店、藤沢さいか屋店、船橋ららぽーとTOKYO-BAY店、大宮アルシェ店、羽生イオンモール店、川口アリオ店、越谷イオンレイクタウン店)

TOKYO Disney RESORT®

コピー可

青年委員会学習会

ディズニースタイル

人間関係に悩む人必見!?

コミュニケーション  
Communication OF Disney

授業・児童生徒指導・保護者対応そして同僚との人間関係作り。教職員においては、ほぼ全ての業務内容において、「人間関係作り（コミュニケーション）」はとても大切です。これがうまくいけば、教職員生活がうまくいくと言っても過言ではありません。そこで今回はこれに焦点を当てた「ディズニースタイルコミュニケーション」についての講演・ワークショップを行うことにしました。講師は接客向上委員会&Peace代表の石坂秀己（いしざかひでみ）氏。主な著書は『ディズニーランドが教えてくれたみんなが笑顔で働ける習慣』（こう書房）等。

日時：3月3日（木） 青年委員会全体会終了後～

場所：湘南教育会館